

令和7(2025)年3月1日

関係各位

(公財)とちぎ未来づくり財団

子ども総合科学館

館長 神山 正幸

(公印省略)

令和7年度アウトリーチ事業「移動科学教室」のご案内

時下、ますますご清勝のこととお喜び申し上げます。

当館の業務運営につきましては、日頃より格別のご理解、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、当館では、より多くの子どもたちへ科学に対する興味・関心を高めてもらうため、学校や公民館等の教育活動の事業を対象として、アウトリーチ事業「移動科学教室」を実施しておりますが、令和7年度も引き続き下記のとおり実施することになりましたので、ご案内申し上げます。

つきましては、内容等をご確認いただき、ご希望がございましたら受付期間中にお申込みをお願いします。

なお、当館は、展示場、プラネタリウム等の改修・更新のため、現在休館中となっておりますが、今秋リニューアルオープン予定ですので、校外活動の一環としてなど、引き続きご利用いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 主催 (公財)とちぎ未来づくり財団 子ども総合科学館
2. 時期 令和8年1月15日(木)～2月28日(土)

実施可能日一覧

背景が白の日は実施可能日、背景が灰色の日は実施できない日です。

令和8年1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

令和8年2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3. 内容 サイエンスショーと工作教室(工作教室は希望団体のみ)
詳細は別紙をご参照ください。

4. 実施対象及び人数

I 栃木県内の小学校で企画する事業

1～3クラス(100名程度)まで。小規模校は複数学年合同の実施も可能です。
(要連絡)

II 栃木県内の盲・聾・特別支援学校(分校も含む)で企画する事業

詳細については実施確定後にご相談ください。

III 栃木県内の市町村教育委員会・公民館・児童館・図書館などの社会教育事業

30名程度まで。

5. 申込みに際しての注意事項

- ・参加者が不特定の事業は、対象外とさせていただきます。
(学校祭や地域の文化祭的行事の中の1ブースとしての実施など)
 - ・実験の準備をする都合上、開始時刻は10時以降とさせていただきます。
また終了時刻は15時までとお願いいたします。
 - ・実施するサイエンスショー及び工作は、それぞれ1種類のみとさせていただきます。
 - ・お申し込みは、各学校・団体1回限りとさせていただきます。
- ※学年ごとのお申込みは致しかねます。

6. 費用 無料

7. 受付期間 令和7年4月1日(火)～ 4月25日(金)午後5時まで

8. 申込方法 申込票を科学館のホームページからダウンロードして、メールもしくは FAX にてお申し込みください。応募多数の場合は、抽選となります。

移動科学教室受付専用: ido-kagaku@tmf.or.jp

FAX 番号: 028-659-5353

※申込票の受信を確認次第、数日中に科学館から受信確認のメールもしくは FAX をお送りします。返信がない場合は、科学館までご連絡ください。

9. その他

- ・実施する場所によっては、サイエンスショーの内容に若干の変更がございます。
- ・抽選の結果は、メールもしくは FAX にて、5月25日までにご連絡致します。
- ・ご不明な点は、科学館企画事業課までご連絡ください。
- ・申込期間中の休館日 4月7日(月)、14日(月)、21日(月)、24日(木)

以上

(公財)とちぎ未来づくり財団

子ども総合科学館 企画事業課 石原 佳章

TEL 028-659-5555 Fax 028-659-5353

【選択できるサイエンスショー】一覧(各35分間程度)

番号	題名	対象	対象児童数	場所など	ご用意いただくもの	体験の有無
①	「科学で遊ぼう」	全学年	100名程度	通常教室の2倍程度の広さ～	長机×4 ドラムコード×1	一部有り
②	「空気で遊ぼう」	全学年	100名程度	通常教室の2倍程度の広さ～ (広いスペースが必要)	長机×5 ドラムコード×1	一部有り
③	「音のふしぎ」	全学年	100名程度	通常教室の2倍程度の広さ～	長机×4 ドラムコード×1	一部有り
④	「光のひみつ」	高学年 (中学年も可)	60名程度	通常教室の2倍程度の広さ～ 暗幕でしっかり遮光できる場所	長机×3 移動式黒板 ドラムコード×1	一部有り
⑤	「超低温の世界 (液体窒素)」	高学年 (中学年も可)	40名程度	通常教室の2倍程度の広さ～ (演者と観客の間に2m程のスペースが必要) 遮光できる場所	長机×4 大型モニター ドラムコード×1	一部有り

※⑤につきましては、液体窒素の使用状況により実施日が限られてしまう場合がございます。

※対象に関わらず①～⑤のいずれを選んで頂いても結構です。

※特別な配慮が必要な場合は、実施確定後にご相談ください。

【サイエンスショーのおおまかな内容】

番号	題名	おおまかな内容
①	「科学で遊ぼう」	色がついた水を違うコップに注ぐたびに色が変わる実験や、大きなだるま落としを見せ、慣性の法則等を説明します。
②	「空気で遊ぼう」	巨大空気砲に白煙を入れて打つ実験や空気に重さ(質量)があるかどうか天秤を用いて実証します。
③	「音のふしぎ」	太鼓の上にピンポン球をのせてパチで叩く実験や、機械によって人の声を変える実験等を行います。
④	「光のひみつ」	偏光板を用いた実験や青空と夕日の色の違いを再現し、説明いたします。また、LEDの光源を用いて、虹を再現します。
⑤	「超低温の世界」	液体窒素の中に小さいボールやカーネーションを入れ、変化を観察します。また、酸素や二酸化炭素を冷却するとどうなるか等の実験を行います。

【選択できる工作教室】一覧

番号	題名	内容	工作難易度	かかる時間(目安)	対象
①	プラとんぼ	プラスチックを用いた竹とんぼ	易しい	20分	低学年
②	CDゴマ	CDでつくる簡単なコマ	易しい		低学年
③	みらいくんキツツキ	磁石によってキツツキがドラミングをする工作	ふつう		中学年
④	エコーマイク	バネの特性を生かした工作。音のサイエンスショーと関連のある工作	ふつう		中学年
⑤	多翼風車	8枚の羽がある風車	やや難	30分	高学年
⑥	偏光万華鏡	偏光板の特性を利用した万華鏡。光のサイエンスショーと関連のある工作	やや難		高学年

※低学年の場合はゆっくり工作を進める形になります。易しいものでも、工夫の余地がありますので高学年でも楽しめます。

工作写真一覧

① プラとんぼ



② CDゴマ



③ みらいくんキツツキ



④ エコーマイク



⑤ 多翼風車



⑥ 偏光万華鏡

